

【計画】0-4 気候変動によるコメの収量及び品質への影響に係る影響評価

■ 目的

- 気候変動によるコメの収量の変動や、品質や食味の低下などの影響が発生しており、栽培方法の変更や新品種開発などの適応策が実施されつつある。
- 地域によって影響の発生時期等は異なるため、将来的な気候変動影響に関する予測に基づき、適応策も地域の状況に応じて検討することが望ましい。
- そこで、気候変動がもたらすコメの収量及び品質への将来影響を、最新の影響評価モデルや気候シナリオを活用して予測を行う。

■ 事業計画

年度	主な調査項目
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動影響予測を行うための基礎データの収集整備 • 各地域における主要品種を設定し、気候変動がそれぞれの品種の収量及び品質に及ぼす影響について影響評価を実施、全国規模の影響評価予測マップを作成 • 代表的な適応策オプションについて、導入の検討に必要な定量的な予測情報の作成手法について検討し、試行的に全国規模の予測を実施
R元年度	<ul style="list-style-type: none"> • 上記調査に関する追加調査 • 調査のとりまとめ



白未熟粒(左)と正常粒(右)の断面

出典)農林水産省気候変動適応計画(概要)

■ 実施体制

